

## 3 赤ん坊になったおばあさん

ある所に、おじいさんとおばあさんがいました。ある日、おじいさんは山に柴を刈りに行きました。その帰り道、のどがかわきました。すると、岩の間からきれいな清水が湧き出でたので、さっそく、手ですくって飲みました。

その水のなんとおいしいこと。冷たくて新鮮な水は、おじいさんのお腹に沁み込んでいきました。

「ああ、おいしい水だな、もう一杯もらおうか」

おじいさんはそう言って、また手のひらにす



くって飲み、とてもいい気持ちで、家へ  
帰りました。

「おばあさん、今帰ったよ」

「おじいさん、お帰りなさい」

そう言いながら、戸を開けたおばあ  
さんは、びっくりしました。柴を背負って  
立っているのは、毎日見るしわだらけの  
おじいさんではなく、髪かみの毛けの真まっ黒くろ  
な、若者わかものでした。

「あらあ、どうしたの。あなたは、  
本当にうちのおじいさんですか」

「よそのじいさんが、うちへ来るはず  
がない。わしは、もちろん本物の、ここ  
のじいさんだよ」







「なんでそんなに若<sup>わか</sup>くなってしまうた  
の」

「さあな」

おじいさんも不思議<sup>ふしぎ</sup>になり、自分<sup>じぶん</sup>の手  
を見ると、なるほど、若者<sup>わかもの</sup>のようにしわ  
のないつやつやの肌<sup>はだ</sup>をしています。

「これはきつとあのきれいな清水<sup>しみず</sup>のお  
かげだな。あれを飲<sup>の</sup>んでから、体<sup>からだ</sup>に力<sup>ちから</sup>  
が出てきたようだ」と言<sup>い</sup>って、おばあさ  
んに昼間<sup>ひるま</sup>あったことを話<sup>はな</sup>しました。

おばあさんは、一生懸命<sup>いっしょうけんめい</sup>、その話<sup>はなし</sup>を  
聞<sup>き</sup>いていました。そして、

「それじゃ、おじいさん。私もその  
清水<sup>しみず</sup>を飲<sup>の</sup>んで来<sup>く</sup>る。清水<sup>しみず</sup>はどこにある

の

と言いました。おばあさんは、おじいさんから清水の場所をくわしく聞いて、急いで出かけました。ところが、何時間たっても、おばあさんは家に帰って来ません。

「どうしたのかなあ。おばあさん。山道で転んで怪我をしたのかな」

おじいさんは心配になり、ちようちんをつけて、暗い夜道をおばあさんを探しに出かけました。そして、とうとう清水の湧いている所まで来た時、

オギャー、オギャーと泣いている赤ん坊を見つけました。

おばあさんは、欲張り過ぎて、若くなる清水をたくさん飲んで、赤んぼうに戻ってしまっただです。

「やれやれ、困ったおばあさんだ」

おじいさんは、文句を言いながら、赤ん坊になっ

たおばあさんをおんぶして、山を下りたということです。



## 變成嬰兒的老婆婆

某個地方有位老公公與老

婆婆，一日老公公上山砍柴，

回家途中覺得口渴，他發現從岩

石間，汨汨地湧現出清澈的水，他

立刻手掬了一口喝下。那水真甘甜！沁

涼心脾！

「啊！好甜美的水呀！再喝一口吧！」老

公公說著又再掬起一口喝下，舒暢無比地回家了。

「老太婆我回來了。」

「老頭子，辛苦了。」老婆婆說著打開門，嚇了一大跳。揹著木柴站在那裡的人，並不是平日見到的滿臉皺紋的老公公，而是頭髮



烏溜溜的年輕人。

「哎呀！老頭子呀！這是怎麼回事？您真的是我家的老頭子嗎？」

「別家的老頭子怎麼會來我們的家！我可是貨真價實這家的老大爺呀！」

「你怎麼變年輕了？」

「咦？」老公公也覺得很奇怪，看了看自己的手，發現皮膚就如年輕人般的光滑細緻。

「這一定是那清水的緣故！喝了那泉水之後，似乎身體就有力氣了。」於是他就將經過告訴了老婆婆。

老婆婆認真地聽了老公公的話，說：「那麼我也要去喝那清水。清水在哪裡？」

老婆婆仔細問清了清水的場所之後，就急



忙出門去了。可是，老公公在家等了許久，也不見老婆婆回來。

「到底怎麼回事？那個老傢伙！該不會是在山路跌倒受傷了？」

老公公點起燈籠，走著漆黑山路去找老婆婆。走到湧出清水的地方時，看到了哇哇大哭的嬰兒。老婆婆因為太過貪心，喝了許多返老還童的水，所以變成了嬰兒。

「哎呀呀！真是令人傷腦筋的老太婆呀！」老公公滿口抱怨，把嬰兒揩了下山。

